

清須市立桃栄小学校で防災講座を行いました

令和6年1月22日（月）、清須市立桃栄小学校で4年生25名に水害と地震について防災講座を行いました。学校の近くには五条川が流れ、過去には東海豪雨で桃栄小学校のグラウンドが水に浸かったそうです。

水害の講座では、清須市でも被害のあった伊勢湾台風や東海豪雨などについて学びました。伊勢湾台風や東海豪雨について知っているか聞いたところ、ほぼ全員が知っていると答え、水害の記憶が伝承されていました。また、浸水疑似体験映像を見た際に、水害時にどのような避難行動をするか質問すると、多くの児童が高層マンションへ逃げると回答し、垂直避難の意識が高いことが伺えました。

地震の講座では、新年早々に発生した能登半島地震や過去に発生した地震、液状化現象について映像を交えながら学習しました。液状化実験の映像を見た際には、ビルが倒れ埋設物が浮上した様子を観て、多くの児童が「えーっ！」と驚いていました。また、ペットボトルを用いた液状化実験も行い、液状化が起きる仕組みも学びました。

最後に、「お話を聞いて、水害時の避難について学べたので、これから意識して生活をしていきたいです。」「自分の家の近くに危険なものはないか、そして家族と安全に避難できるように普段から相談をしようと思いました。」などの感想を頂きました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、災害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。



水 害



地 震

